

都市経営市民会議での意見に対する対応について

No.	区分	発言者	該当施策	ご意見内容	回答
1	都市計①	中川会長	全般	行政の公益的評価に際しては、成果の捉え方が多岐にわたるため、なにをもって成果とするのかといった指標の選び方が重要である。また、KPIとKGIの定義を明確に切り分け、行った仕事量（アウトプット）と実際の成果（アウトカム）を区別する事が必要である。	会長ご指摘のとおり、指標の選択については、ロジックモデルを用い適切に判断を行います。また、中期基本計画では、アウトプットとアウトカムを区別し記載いたします。
2	都市計①	中川会長	全般	満足度を指標にする場合があるが、行政サービスの評価に用いるのは危険であると考えます。それは行政が市民に対して向上させるべきは、満足度ではなく、納得度であるべきだからである。現行計画においても、いくつかの満足度を測る指標があるため、再考いただきたい。	ご意見ありがとうございます。市民アンケート調査等によって、計画前期から満足度を計測していることから、今回はその継続性を担保するために、満足度を引き続き測定いたしますが、ご指摘の重要性を踏まえ、次回総合計画策定時などに検討して参ります。
3	都市計①	中川会長	全般	しっかりと計画に関連する法律や条例の明示をしていただきたい。	ご意見を受け、関連する個別計画については精査を行い、引き続き計画に記載いたします。法律や条文につきましては、施策単位で切り分けが難しいことや、紙面上の記載が難しい分量になることなどが想定されるため、市民の読みやすさなどに配慮し、今回は実施しない方向で検討いたします。
4	都市計①	中川会長	全般	住民自治が弱まることは団体自治に過大な負担をかけ、地域全体へ影響を及ぼす。次期計画の策定に向けては、その危機感を共有した上で、各部門が住民自治との分担をどのように実現するかについて見直していただきたい。このときに、行政委員会は例外的に扱われやすいが、例えば、公平委員会が処理する案件数を公開し、その情報を住民と共有することは、行政施策が適切に行われている証拠として重要である。	ご意見は総合計画中期基本計画の策定の参考とさせていただきます。
5	都市計①	中川会長	全般	住民自治は自治会及び町内会だけが行うものではなく、各個人や家庭でも「できることを行う」という認識が必要であり、次期計画には各施策にそれぞれ具体的に記載いただくことも検討いただきたい。	中期計画への反映としては、以下を想定し、各個人や家庭が「できることを行う」と認識ができるようにいたします。 ・基本計画の各施策にある「生活のなかでみんなができること」を、より市民が主体性をもって発揮するようなタイトルに変更するとともに、市民アンケート調査結果などをふまえ、さらに充実させます。 ・現基本計画 p25の「基本計画の推進にあたって」に、住民自治に関する記述を行います。 ・現基本計画のp26の「基本計画の構成」部分で「生活の中でみんなができること」の説明を更に強調します。
6	都市計①	中川会長	全般	教育分野における住民自治の担い手はPTAである。しかし、現在そのPTAが弱体化していることが問題となっているが、現行計画にはこの問題について触れられていない。共働化が進む現代社会において、変化をただ眺めるのではなく、自治組織は今後どのように変化し、それをどのように捉え、施策を立案すべきかを考える必要がある。	ご意見は総合計画中期基本計画の策定の参考とさせていただきます。
7	都市計①	中川会長	全般	人口施策について、出生率の向上を重視する自治体も多くあるが、出生率を向上させることは、地方自治体の能力を超えており、難しいと考えている。出生率が上昇している自治体は、地価の安さや戸建て住宅の建てやすさなどの要素により、若い世代の移住者を獲得している自治体である。 香芝市においても、若い世代が住みやすいまちづくりを目指すべきであり、非正規労働者を減らすなどの取組が重要である。	ご意見は総合計画中期基本計画の策定の参考とさせていただきます。

No.	区分	発言者	該当施策	ご意見内容	回答
8	都市計①	中川会長	15	退職された方など地域人材となりうる方々が地域で活動するためには、地域に協調性をもって入り込んでいくためのスキルが必要である。地域との関わりをもつことができるような社会教育の実施に努められたい。	市民同士の学び合いの場として、「夏のかしばアカデミー」を令和5年から実施している。これは市民が講師として、または受講生として参加し、自身の得意なことや趣味、生きがいなどを教えあう（学び合う）こと目的としており、この事業を通して、地域での居場所づくりや人材育成に寄与するものと考えております。 また、地域貢献を希望する方への機会提供として、例えば、子どもたちの健やかな成長を見守るためのボランティア（登下校時の見守りや園芸等）などを学校・地域パートナーシップ事業において募集しております。
9	都市計①	中川会長	13～15	環境及び経済的に恵まれた方へのもとなつている状況があり、危惧している。例えば、慢性病を抱える人たちが社会的に孤立している人々、また一人暮らしの人々、家庭に恵まれない子どもたちなど社会的に弱い立場の方に向けての生涯学習をやっていかなければ、更なる社会格差の拡大につながっていく恐れがある。 また、そのような人材が鍛えられて、地域に入り込むことによって、地域団体や自治会活動の活性化へと還元されるような運動性が向上することもあるだろう。 このように、施策13～15は深く関連していることを行政内部でも議論いただき、施策の方針の転換を図っていただきたい。	ご意見は総合計画中期基本計画の策定の参考として、所管課とも共有いたします。
10	都市計①	中川会長	全般	最終アウトカム指標のみが記載され、それに紐づく行政活動である中間アウトカム、アウトプットが指標化されていないために、評価のポイントが見えにくい。是非工夫いただきたい。	No1のとおり
11	都市計①	中川会長	18	地域計画という言葉が出てきたが、正式名称は何か。	以下、ご参照ください。 (参考) 農業経営基盤強化促進法 第十九条 同意市町村は、政令で定めるところにより、前条第一項の協議の結果を踏まえ、農用地の効率的かつ総合的な利用を図るため、当該協議の対象となつた農業上の利用が行われる農用地等の区域における農業経営基盤の強化の促進に関する計画(以下「地域計画」という。)を定めるものとする。
12	都市計①	加藤委員	全般	前期基本計画のふりかえりシートの「行政評価における担当課の進捗評価」と「指標の進捗状況の評価」が必ずしも連動していない施策が見受けられる。理想的には、「指標の達成状況が良いものが、施策として順調である」というように、施策達成度の基準になるべきであろうがそうになっていない。 理由として考えられることは、評価指標の設定自体に問題があるか、また、反対に担当課の主観的な評価が誤っている可能性も考えられ、評価の解釈に注意が必要である。いずれにせよ、次期計画を考える際には、評価指標の見直しは必要と思われる。	現在、総合計画の策定のために各所管で取り組んでいるロジックモデルを使って、施策目標に対する事業の因果関係や評価指標の妥当性について改めて整理しているところですので、今後体系立ててお示したいと考えています。
13	都市計①	縄田委員	18	市内酒造会社香芝産酒米使用率の実績値が目標値を下回っていることに関して、酒米の出荷量は毎年増えているが、香芝市産酒米以外を使用した酒の出荷量が増えていることから、割合としては下がっていると聞いている。指標については、農地面積の拡大という観点から効果測定するのが良いのではないか。ただし、現状として酒米を作っている者も、65歳以上と高齢の方が多く、10年後に市内で米を作る場所あるのか、また担い手がいるのかということが気がかりである。	ご意見は総合計画中期基本計画の策定の参考として、所管課とも共有いたします。

No.	区分	発言者	該当施策	ご意見内容	回答
14	都市計①	縄田委員	18	今後、米を作らなくなれば、農地の保水性もなくなり、それによって土砂崩れが生じる可能性が増すことも想定される。農業分野の課題という認識に留まらず、災害対策の方面からも対策を検討いただきたい。	ご意見は総合計画中期基本計画の策定の参考として、所管課とも共有いたします。
15	都市計①	平井委員	21	高齢者に限らず、様々な方が詐欺のターゲットになり得る。行政、金融機関及び警察が連携しながら、防止に努める必要がある。	ご意見は総合計画中期基本計画の策定の参考として、所管課とも共有いたします。
16	都市計①	船木委員	13	自治会における問題としては、高齢化による役員のなり手不足がある。昨年、新たに自治連合会への加盟の申し出があった自治会でも役員のなり手がなく、辞退するという事案があった。 また、こども会の事例であったこととして、前例に則って運営いただくなかで、形骸化していた部分もあったが、予算と権限を与え、自主性を尊重することで住民の意欲の向上につながり、組織が活性化するケースもあった。うまくいっていない場合は、現状からの方針転換も必要と考える。	ご意見は総合計画中期基本計画の策定の参考として、所管課とも共有いたします。
17	都市計①	船木委員	18	私の住む地域で農業に関するアンケート調査を実施したが、「農業を続けたい」と回答された方は非常に少なかった。農業を辞められる方の大半は、農地を貸したり売ったりされると思うが、地域の調和を保つためには、無秩序な開発が進まないよう、行政が調整する必要があると思う。	現在、市街化調整区域内農地において、10年後の農地の利用方針を定める計画の策定を進めています。この計画に含まれる農地については、自由に農地転用ができないため、無秩序な開発の抑制になります。
18	都市計①	吉村委員	全般	香芝市は住み良い、働きやすい、子育てに適した、治安の良い町であるべきと考える。その中で、商工会が担うべき役割の一つは、しっかりと働ける場所を確保することである。 香芝しごと展では農業委員会と協働したり、香芝みらい塾では金融機関と協力したりとさな連携も図ってきたが、これからもまちづくりの中でできることはまだあると思っている。 商工会は様々な要素をつなぐ接着剤の役割を果たしていきたい。	ご意見は総合計画中期基本計画の策定の参考として、所管課とも共有いたします。
19	都市計①	吉村委員	13	自治会の加入率は微減ということだが、私が住む地域においても新しく住み始めた方々の中に、自治会への加入をためらう世帯が増えている。以前は、祭りなどの運営を通じて子どもだけでなく家族全体も巻き込む形で、地域のつながりがうまく機能していた。しかし、コロナ禍により祭りや神事も中止が増え、その後消極的な傾向が見られる。行政において、様々な施策が考えられているが、地域においても取り組むべきことや守るべきことがあるのではないかと考える。	ご意見は総合計画中期基本計画の策定の参考として、所管課とも共有いたします。
20	都市計①	吉村委員	18	実際に香芝市で農業を始めたいという声をよく聞くが、農地の借用方法や依頼先がわからないといった意見も聞く。そのため、これらの方々への情報提供を行うことで、新たな農業の担い手が見つかるのではないかと考える。	農業委員会窓口にて、農地手続き及び新規就農について案内をしています。農地の貸し借りについては、受け手と出し手のマッチングを行う機関である公益財団法人なら担い手・農地サポートセンターを紹介しています。また、非農家の方が野菜作りを行うことができる特定農地貸付事業も実施しています。